



京都市会議員 吉井あきら

市政報告通信

Vol.30
2019.Oct

山科観光の推進

ここ山科は、平安京より古い1400年を超える歴史や豊かな自然に恵まれ、安祥寺、勸修寺、毘沙門堂、随心院などの寺院や赤穂義士大石内蔵助良雄ゆかりの大石神社のほか、清水焼団地を代表とする京焼・清水焼などの伝統産業や、京の伝統野菜である山科なす、ぶどう等の観光農園など、知る人ぞ知る奥深い魅力にあふれています。これらの豊かな観光資源を広くお知らせすることで、多くの観光客に山科に来ていただき、まちの活性化につなげていきます。



とっておきの京都プロジェクト

京都市と京都市観光協会では、地域や民間事業者と連携し、隠れた名所の魅力を発掘・活用することにより、市域全体への観光客の誘客を促進させるプロジェクトを開始しました。

山科、伏見、西京、大原、高尾、京北エリアのプロモーション強化や周遊促進に向けた体験型メニューの造成に取り組んでいます。

「とっておきの京都プロジェクト」公式ウェブサイト <https://totteoki.kyoto.travel/>



天皇陛下御即位記念「京都山科非公開文化財等の特別公開」

これまで非公開とされていた安祥寺をはじめ、勸修寺、随心院、毘沙門堂、本圀寺の皇室ゆかりの5寺院において、通常は拝観できない文化財が一斉に特別公開されます。



安祥寺

開催期間 令和元年11月16日(土)～12月1日(日)

公開文化財 安祥寺「木造十一面観音立像」(重要文化財)
勸修寺「書院障壁画(近江八景図・竜田川紅葉図)」(重要文化財)
随心院「扇面時絵硯箱」
毘沙門堂「親王旗・亀甲簾」
本圀寺「経蔵」(重要文化財)

拝観時間 安祥寺、勸修寺、本圀寺:午前9時～午後4時30分(午後4時受付終了)
随心院:午前9時～午後5時(午後4時30分受付終了)
[ライトアップ午後6時～午後9時(午後8時30分受付終了)]

毘沙門堂:午前8時30分～午後5時(午後4時30分受付終了)※11月末まで
午前8時30分～午後4時30分(午後4時受付終了)※12月1日以降



びわこ疏水船の運航拡大

平成25年より試乗会を行うなど、琵琶湖疏水における通船の復活に向けて様々な課題と向き合い、67年ぶりに平成30年春から本格的なびわこ疏水船の運航がスタートしました。

昨年度は延べ約9千人が乗船され、乗船率は98%と大好評を博し、今年の春季までで延べ約1万7千人が乗船されました。今年度は、より多くの方に乗船いただけるよう、運航日数を88日から123日へと大幅に拡大するとともに、秋季からは、船を1隻増やし、「めいじ号」「へいせい号」「れいわ号」の3隻で運行していきます。

京都から大津まで運航している疏水船から山科の景色を楽しんでいただき、山科の乗下船場(四ノ宮舟溜)で下船いただき、山科の名所を散策いただきたいと考えています。



新たに造船された「れいわ号」



自慢の農産物

山科には、京都の伝統野菜である「山科なす」、古くから栽培されてきた「山科とうがらし」、昭和40年代から盛んに栽培され市内産ブドウの大半を占める「山科のブドウ」があります。

また、勸修寺観光農園は、市内随一の規模の観光農園で、春にはタケノコ、夏にはブドウ狩り、秋には芋掘りが楽しめ、旬の農産物も販売されています。



山科なす



山科とうがらし

山科～大津間の新たなバイパスの早期整備を!

平成31年4月に京都高速道路新十条通(稲荷山トンネル)が、阪神高速道路株式会社から京都市に移管・無料化されて6ヶ月が経ちました。

平成31年4月～8月の稲荷山トンネルの1日当たりの通行車両の平均は、1万8千5百台で、無料化前の昨年度と比較すると2.2倍の通行量となっています。8月のみの1日当たりの通行量平均は2万5百台で、無料化前に見込んでいました2万台を超えて、多くの方にご利用いただいています。

この結果、国道1号線の通行量は確実に減ってきていると実感していますが、今後、京都市と国が連携して効果検証が行われる予定です。

一方で、稲荷山トンネルを利用する車両が、幹線道路以外の生活道路に入り込んでいる状況があり、多くの地域住民の皆様にご迷惑をお掛けしており、その対策を京都市に求めています。

この間の稲荷山トンネルの交通量の推移から、今後も通行車両は増加することが見込まれますが、新十条通の先に大津市へ抜けるバイパスが建設されれば、幹線道路を迂回し生活道路を抜ける車両が減少すると考えられますので、山科～大津間の新たなバイパスの早期整備に向けて、しっかりと取り組んでいきます。

稲荷山トンネルの交通量推移 【単位:百台/日】

	令和元年度	平成30年度
4月平均	1 6 4	8 0
5月平均	1 7 5	7 9
6月平均	1 8 9	8 1
7月平均	1 9 3	8 1
8月平均	2 0 5	9 6
平均	1 8 5	8 3



バスの利便性向上

- 山科区小金塚地域住民の皆様のご長年の悲願でありました地域内を循環するバスの運行が、京阪バス会社により、平成31年3月から実証運行という形で開始されました。市バスの運行も視野に山科区のバス路線を充実し、区民の皆様のご生活をしっかりと確保できるよう、引き続き積極的に取り組んでまいります。
- 地下鉄・バス一日券(大人900円、小児450円)が、平成30年3月から京阪バス(一部路線を除く)でも利用可能となりました。また、平成31年3月から市営地下鉄と接続する市バス・京都バス・京阪バス・京阪京都交通とを相互に乗り継ぐことができるバス・地下鉄、地下鉄・バス連絡普通券が値下げされました(乗継割引額:60円→120円)。



災害に強いまちに京都・山科

消 防

- 山科消防団員充足率100%の達成(30年10月)
- 西勤修寺消防出張所の運用開始(31年1月)

河川整備・浸水対策

- 安祥寺川と四宮川の改修を市府が連携して実施することを合意(28年9月)
- 旧安祥寺川改修工事の完了(31年3月)
- 山科三条雨水幹線の供用開始(29年3月)
- 山科川13-1号雨水幹線を整備中(令和元年度供用開始予定)

避難所の改修・建替え

- 安祥寺中学校体育館の防災機能強化リニューアル(令和元年12月竣工予定)
- 勤修小学校体育館の防災機能強化リニューアル(30年12月度竣工)
- 小野小学校プールの防災機能強化リニューアル(31年3月竣工)

山科区内の
火災件数が**半減!**

平成29年:26件

平成30年:13件



リニューアル後の小野小学校プール



リニューアル後の勤修小学校体育館

